

# 普通徴収切替理由書兼仕切書

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 市町村名 |  | 指定番号 |  |
| 事業主名 |  |      |  |

| 符号  | 普通徴収切替理由   | 人数 |
|-----|--|----|
| 普A  | 総従業員数が2人以下<br>(事業所全体の従業員の人数から、下記「普B」～「普F」に該当する全ての人数を差し引いた人数) | 人  |
| 普B  | 他の事業所で特別徴収されている  | 人  |
| 普C  | 毎月の給与が少なく、税額が引ききれない  | 人  |
| 普D  | 給与の支給が毎月ではない(不定期受給)  | 人  |
| 普E  | 専従者給与が支給されている<br>(個人事業主のみ対象)                                 | 人  |
| 普F  | 退職者又は退職予定者(5月末日まで)   | 人  |
| 合 計 |  | 人  |

- 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。
- この普通徴収切替理由書の普通徴収合計人数と普通徴収に該当する個人別明細書の件数が一致することを確認して提出してください。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。
- 申出の内容について、さらに詳しい事情をお聞きし、特別徴収に変更する場合があります。
- 提出にあたっては、この普通徴収切替理由書を普通徴収分の個人別明細書の上に綴り、提出してください。【事務手引き参照】
- 全員を特別徴収とする場合は、提出不要です。